

トップテン事業 BAT(先進技術)及び BP(優秀事例)の選考結果公表

- ・「省エネ技術・事例トップテン事業」に関しご報告したい。
- ・6月27日、IPEEC（国際省エネ協力パートナーシップ）の最高機関である政策会議の場において、最初の国際トップテンリストが公表された。と同時に、今回、案件を提出した夫々の国の、国内トップテンリストも、IPEEC ウェブサイトにアップされた。

www.ipeec.org/pubrications.html

- ・日本の成績は以下の通りである。
- BAT（先進技術）は、提出案件数 11 に対し、最終リスト掲載数は 9 社(共同提出社をいれると 10 社)となった。他方 BP(優秀事例)は、提出案件数 8 に対し、最終リスト掲載数は 3 社だった。
- ・本年度も国内案件は選考済み（BAT：14 社、BP：8 社）であり、本年度後半以降、第二回国際トップテン選考に向けた動きが出てくる見込み。
 - ・トップテン事業は、IPEEC に加え、G20 の場で、正式な取組みとして認知された。今後の発展が期待される場所である。

表ー第 1 回 国際トップテンリスト

< BP（優秀事例）>

内容：案件提出企業※	提出国
発電機の最適コントロール	豪州
飛行計画の効率化（航空会社）	豪州
製造工程におけるアイドルタイムの削減	豪州
Qianxi Countryにおける産業の排熱利用による地域暖房	中国
天津エコシティにおける中国—シンガポール共同によるBEMS適用模範ビル	中国
Guohua Electric Power会社によるギガワット級石炭火力発電所における省エネ	中国
Qingdao Refining and Chemical Co., Ltd.における省エネ事例	中国
エネルギージャストインタイム（JIT）管理について：(株)デンソー	日本
工場全員活動で省エネ・ピーク電力削減の推進：パナソニック(株)	日本
エチレンプラントとLNG冷熱の融合による大規模省エネの実現：三井化学(株)、大阪石油化学(株)、大阪ガス(株)（共同提出）	日本

< BAT (先進省エネ技術) >

技術名	適用例：案件提出企業※	提出国
産業排熱の回収・利用技術	排熱発電	豪州
	熱・電併用によるセントラルヒーティング	中国
	金属業における排熱回収タービン	中国
	高路スラグ冷却水からの排熱回収	中国
	有機ランキンサイクルによる低温廃熱発電の産業への適用	米国
	低温廃熱のパワー吸収チラーへの適用	米国
高効率・低排出物ボイラー	ボイラーエコノマイザー	豪州
	微粉炭適用による新型高効率産業用ボイラー	中国
	小型貫流ボイラー：(株)ヒラカワ、三浦工業(株)、(株)タクマ、(株)日本サーモエナー（個別提出）	日本
	低NOx型リジェネレーター：ー	日本
高効率ヒートポンプ技術	二段階インバータコンプレッサー使用による空気熱利用ヒートポンプ	中国
	生産工程における冷暖同時利用ヒートポンプシステム：アイシン・エイ・ダブリュー(株)	日本
	低温対応ヒートポンプ：(株)IH1機械システム	日本
	高温対応ヒートポンプ：(株)神戸製鋼所	日本
CHP (combined heat and power)	コージェネレーション	豪州
	ガスエンジンによるコージェネレーション：川崎重工業(株)	日本
	産業向けCHP（熱電併給システム）	米国
スロット調整によるポンプシステムの最適化		豪州
高調波スペクトルによる振動制御		中国
高効率LED照明：東芝ライテック(株)		日本
可変周波数駆動技術（VFD）		米国
エコドライブ		豪州
プレミアム調光技術：日立アプライアンス(株)		日本